

平成27年度 学校評価計画

小美玉市立玉里小学校 校長 川又 義祐

1 学校教育目標

自ら学び、豊かな心と健康な身体をもち、たくましく生きる児童の育成

2 目指す学校像、児童・生徒像、教師像

学校像	<ul style="list-style-type: none">○ 笑顔あふれる学校○ 活力のある学校○ 応援される学校
児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none">○ 自分から進んで学ぶ子○ ありがとうがもらえる子○ 健康で体力のある子
教師像	<ul style="list-style-type: none">○ 子どもを愛し一人一人を大切にする教師○ 研鑽に励み指導力を向上させる教師○ 保護者や地域に尊敬され信頼される教師

3 学校の現状

- 歌声（合唱）の響く学校であり、四季の花いっぱいの学校である。何年にも亘る活発な取り組みの積み重ねが土台の合唱は、輝く成果を収めている。
- 確かな学力の向上に向けて、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を育成している。
- 児童の体力向上に向け、授業の充実を図るとともに、毎週月の「朝の運動（トレーニング）」や朝、業間、昼休みの運動を実施している。
- 地域3団体との連携による「読み聞かせ」等により、豊かな心の育成が図られている。
- 児童の体験的活動を重視して地域の教育力やボランティアを学校行事や授業に積極的に活用している。

4 前年度の成果と課題

- 全学年において、学びあい・関わりあいによる思考力・判断力・表現力の育成を図ってきた。この取り組みにより、児童一人一人が、友達との考えと比較することにより、自分の考えをもつことができるようになってきた。また、基礎・基本の定着に向けて、月例テストや個人カルテ等を活用してきた。概ね目標値は達成している。
- いじめチェックリスト等を活用したいじめを許さない指導と児童同士の人間関係づくりの活動（SST等）を通し、思いやりのある児童を育成してきた。いじめの未然防止には、現時点では、一定の効果が上がっている。課題として、以下の点がある。
- 基礎・基本的な知識、技能の習得を図るとともに、学びあい関わりあいのある授業を通して思考力・判断力・表現力を高める。
- 所属感・居場所のある学校・学年づくり等を通して、心を育てる教育を推進する。
- 学校・家庭・地域との連携をさらに図り、開かれ応援される学校を目指す。

5 組織目標

番号	内 容	実施期間				
		25	26	27	28	29
1	確かな学力の定着と言語による表現力を高める学習指導		○	○	○	○
2	よく働き、周囲に感謝される児童の育成	○	○	○	○	○
3	学校・家庭・地域との連携と応援される学校づくり	○	○	○	○	○

平成 27 年度 学校自己評価書

小美玉市立玉里小学校 校長 川又 義祐

1 今年度の取り組みの概要

- 1 確かな学力の定着と活力ある学校づくり（学力・体力）
 - ・ 学びあい関わりあいのある授業の中での思考・判断・表現力の育成，健康・体力の向上
- 2 全教育活動を通しての豊かな心を育てる教育の推進（ありがたいがもらえる子）
 - ・ 所属感・居場所のある学校・学年づくり，道徳的実践力の育成，児童会活動の活性化
- 3 地域に信頼され，応援される学校づくり（安全で美しい環境）
 - ・ 積極的な情報発信・収集と地域の教育力の活用

<達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る>

◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

組織目標 1		学力向上（基礎基本の徹底，表現力育成，国語への興味関心）		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びあい関わりあいを核にした授業づくりを進める。 ・ 個に応じた指導と基礎・基本の徹底指導を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動（思考力・判断力・表現力）の充実 ・ 発表・話し合い，ノート指導等による学び合い ・ 「学習の約束」の徹底，月例テスト90%，個人カルテ・家庭学習100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容が理解できたと答える児童は60%（アンケート4/4段階），友達の考えをよく聞いた児童は67%（〃）となった。しかし，自分の考えを進んで言ったり発表したりした児童は40%（〃）に止まった。今後も一斉授業からの脱却と学びあい関わりあいを核とした授業やノート指導等を継続していく。 	B	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が意欲的に学び合い，表現できる国語科学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の中での言語活動の工夫 ・ 子どもが主体になる学習形態の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習形態や授業展開・ワークシート等を工夫することにより，友達との意見交換を積極的に行う児童が増えた。 ・ 身に付けたい力を明確にした単元構想により，国語が楽しいと答えた児童が84.6%（4+3/4段階）となった。 	B	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康・体力の向上を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した体育の授業 ・ 創意ある体育的活動（朝の運動，チャレンジランキング，縦割り班活動） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善，毎朝の自主ランニング，毎週1回の朝の運動，縦割り班活動（ロング昼休みでの運動実施）により，体力テストA+B=74.6%となった。昨年度（73.7%）を超える達成率となり，取り組みの成果が表れている。 	A	

◎ 組織目標 2 についての具体的な取り組み

組織目標 2		心を育てる教育の推進（ありがたいがもらえる児童の育成）		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活が楽しく，思いやりや優しい言動のとれる児童を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師による一人一人の活躍の場の設定と具体的な言動の認め ・ 道徳の時間の充実 ・ 児童会活動の活性化（委員会活動の充実） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の時間の充実，児童主体の絆づくり，教師主体の居場所づくり，玉里小マナーアップ賞への取り組み，なかよし集会（計画委員会）等を行った。その結果，学校生活が楽しい児童は92.5%（4+3/4段階），友達と仲良く過ごせた（悪口を言わない・仲間外れにしない等）児童は95%（〃）となった。 	A	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書好きの子，読み聞かせを楽しみにする子を育て，豊かな心を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50冊以上読書80%以上 ・ 地域人材活用の読み聞かせ ・ 学校，市内図書館の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人材活用の読み聞かせ75回，読書の楽しさを実感。 ・ 50冊達成76%（4～6年）更なる読書時間の確保が課題である。 	A	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶，話を聴く態度，清掃等の基本的な生活習慣の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来校者への元気な，積極的な挨拶の実践 ・ 清掃時の黙働・協働の実現 ・ 校内マナーアップ賞の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来客者や地域の人へ自分から元気な挨拶ができた92%（4+3/4段階）。校内マナーアップ受賞児童は67%（2月末現在）。清掃時の黙働ができる40%（4/4段階）。黙働の取り組みを継続していく。 	B	

◎ 組織目標 3 についての具体的な取り組み

組織目標 3		地域に信頼され、応援される学校づくり	
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域との連携を深め、開かれ応援される学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA 本部や保護者との密なる連携（児童健全育成の視点で） 積極的な学校公開（各種便りの発行・区長宅訪問・学校評価の実施等） 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の授業参観、年1回のフリー参観、校内音楽会、ホームページ等の公開により、開かれた学校づくりを進めた。保護者へのアンケートでは、90%（4+3/4段階）を上回る結果は15項目（全22項目）であった。また、学校関係者評価委員会（3回実施）、第三者評価委員会（3回実施）において、評価委員の方々から高い評価をいただいた。 	A
<ul style="list-style-type: none"> 豊かな地域づくりを目指す学区コミュニティとの連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 玉小コミュニティとの連携による校区内の交流の輪の広がり 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、玉小コミュニティと玉里地区敬老会に合唱団や6年児童（ヨサコイソーラン）が参加し、地域との交流を深めることができた。また、児童たちは、地域の子としての自覚をもつことができた。 	A
<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育力、ボランティアの積極的活用を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアリストの再確認・発掘とその活用 	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティアとして、多数の方々に児童の学習支援、環境の整備等を行っていただき、児童の学力向上につながることができた。 	A

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 昨年度は国語科を中心に、自分の考えを自分の言葉で表現できる思考力・表現力の育成を図った。今年度はその点を踏まえ、友達の意見や考えを交流することを通して、自分の考えを更に深めることができるように、学習形態や授業展開の工夫を行ってきた。その成果も表れ、友達の意見を積極的に聞く児童の姿が多く見られるようになった。今後も児童が友達との関わりの中から、多くのことが学べるように指導を続けていく。
- 基礎・基本の定着に向けて、月例テストや個人カルテ等を活用した。今年度も全学年概ね目標値は達成した。また、家庭学習の定着（10分→15分×学年）に重点を置き、更なる定着に向けて取り組んでいく。
- 生徒指導の視点を重視した授業実践（授業スタイルブックの活用）、いじめチェックリスト等を活用したいじめを許さない指導、児童同士の間関係づくり（SST等）の活動を通し、思いやりのある児童を育成してきた。いじめの未然防止には大きな効果を上げた。今後も継続していく。
- 今年度は、地域の教育力や学校支援ボランティアを積極的に活用してきた。児童たちは、魅力的な人間性や技術に触れたことにより、学ぶ楽しさを感じることができた。来年度も、質的な面と同時に量的な面を広げていく。

3 保護者や地域への皆様へ

- 積極的な学校公開と情報収集・発信による開かれた学校づくりを進めてきました。学校公開（授業参観等）だけでなく、学校だより・学年だより・保健だより等で、学校の現状や児童の生活や活躍の様子を紹介しています。また、今年度は、ホームページも積極的に更新して発信中です。是非、ご覧ください。
- 健康・体力の向上にも力を入れています。体育の授業の充実、朝の運動や毎朝のランニング等の取り組みだけでなく、栄養教諭や養護教諭の連携による取り組みの1つである「早寝・早起き・朝ごはん」にも積極的に取り組み児童の達成率は90%となりました。
- 学校の重点目標の1つである「学力の向上」に向けた学校の取り組みにより、今年度も大きな成果を上げることができました。更なる学力向上のためには、家庭学習の習慣を身につけることが大切と考えます。学習時間は、1年15分以上・2年30分以上・3年45分以上・4年60分以上・5年75分以上・6年90分以上となります。学校でも、引き続き児童たちに家庭学習の大切さを伝え取り組ませて行きます。ご家庭でも、全員の児童が家庭学習に十分に取り組めるようにご協力お願い致します。
- 今年度は、学校支援ボランティアとして多くの保護者・地域の方々に児童たちの学びの支援を頂きました。本当にありがとうございました。来年度も多数の学校支援ボランティアを募集いたしますので、ご協力よろしくお願い致します。

